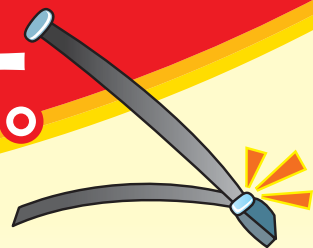


あなたの命を守ります。



交通事故が起きた際、シートベルトを着用していないと、その衝撃により車外に放出される危険性が高くなるなど、死亡に繋がるケースが大変多く見られます。

シートベルトはあなたの命を守る助命器具であり、正しく着用することで、あなたの命を守ります。

岡山県と全国の着用率（高速道路を除く運転者の着用率）

区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
岡山県	95.2	95.0	96.0	96.2	96.5
全国	95.0	95.9	96.6	97.3	97.5

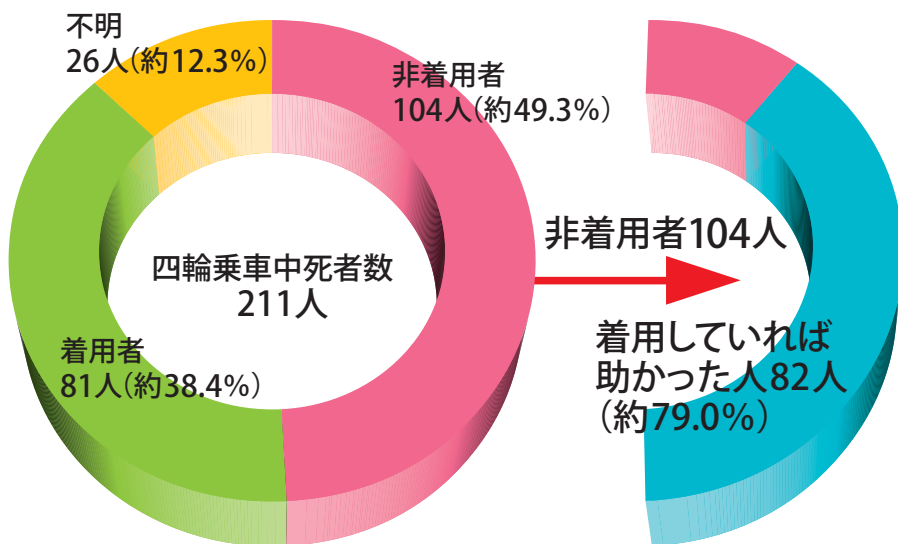
○着用率=着用者 ÷ (着用者+非着用者)

危険

シートベルト非着用の運転者の**死亡率**は、着用者の**約45倍**とされています。シートベルトを着用しないで運転することは大変危険であるという認識を持ちましょう。

※死亡率…死者数を死傷者数で割り返したもの。

平成19年～平成23年（5年間）の四輪乗車中死者のシートベルト着用状況



平成19年～平成23年（5年間）の四輪乗車中死者のシートベルト着用状況については、四輪乗車中死者数 211人のうち、非着用者は 104人（約49.3%）で、もし着用していれば助かった人は 82人（約79.0%）もいました。

着用していれば・・・

交通事故は、自分が起こすだけでなく、いわゆるもらい事故に巻き込まれてしまうこともあります。

シートベルトは交通事故にあった際に、被害を軽減してくれるものです。四輪に乗車したらすぐにシートベルトを着用して、まさかの事故に備えましょう。



着用していますか？シートベルト。

岡山県警察・岡山県交通安全協会



あなたの大切な人の命を守ります。



後部座席を含めた同乗者のシートベルト・チャイルドシートの着用は、運転者の責任です。特に小さなお子さんなどは、それぞれの年齢や体格にあったチャイルドシートを着用してあげることが必要です。同乗者に正しく着用させることで、あなたの大切な人の命を守ります。



過去10年(平成14年～平成23年)のチャイルドシート着用の有無による負傷状況等

区分	死傷者数(人)			負傷なし	被害率(%)		
	死者数	重傷者数	軽傷者数		致死率	重傷率	負傷率
チャイルドシート着用	2	20	2,223	8,479	0.09	0.89	20.93
チャイルドシート非着用	2	15	822	2,032	0.24	1.79	29.22

- 致死率＝死者数÷(死者数＋重傷者数＋軽傷者数)×100
- 重傷率＝重傷者数÷(死者数＋重傷者数＋軽傷者数)×100
- 負傷率＝死傷者数÷(死傷者数＋負傷なし)×100



小さなお子さんなどを抱っこして乗車することは大変危険です。例えば時速40キロで衝突した場合、子どもの体重は約30倍の重さになって投げ出されるので、大人の両腕で支えることは不可能です。

チャイルドシートの主な種類

区分	乳児用	幼児用	学童用
概ねの基準	体重10kg未満、 新生児から1歳位	体重9kgから18kg以下、 1歳から4歳位	体重15kgから36kg以下、 4歳から10歳位

チャイルドシート着用と非着用の格差

チャイルドシート非着用の場合
致死率は着用の場合の約2.7倍
重傷率は着用の場合の約2.0倍
着用しないと**大変危険**です!



同乗者もシートベルト・チャイルドシートの着用を。

岡山県警察・岡山県交通安全協会